

言語心理学の基礎 3 統語解析をめぐって

大津 由紀雄 客員教授（慶應義塾大学名誉教授）

2026年7月18日(土)

3限目～4限目 13:00～16:10

関西大学 千里山キャンパス
岩崎記念館 4階 F401

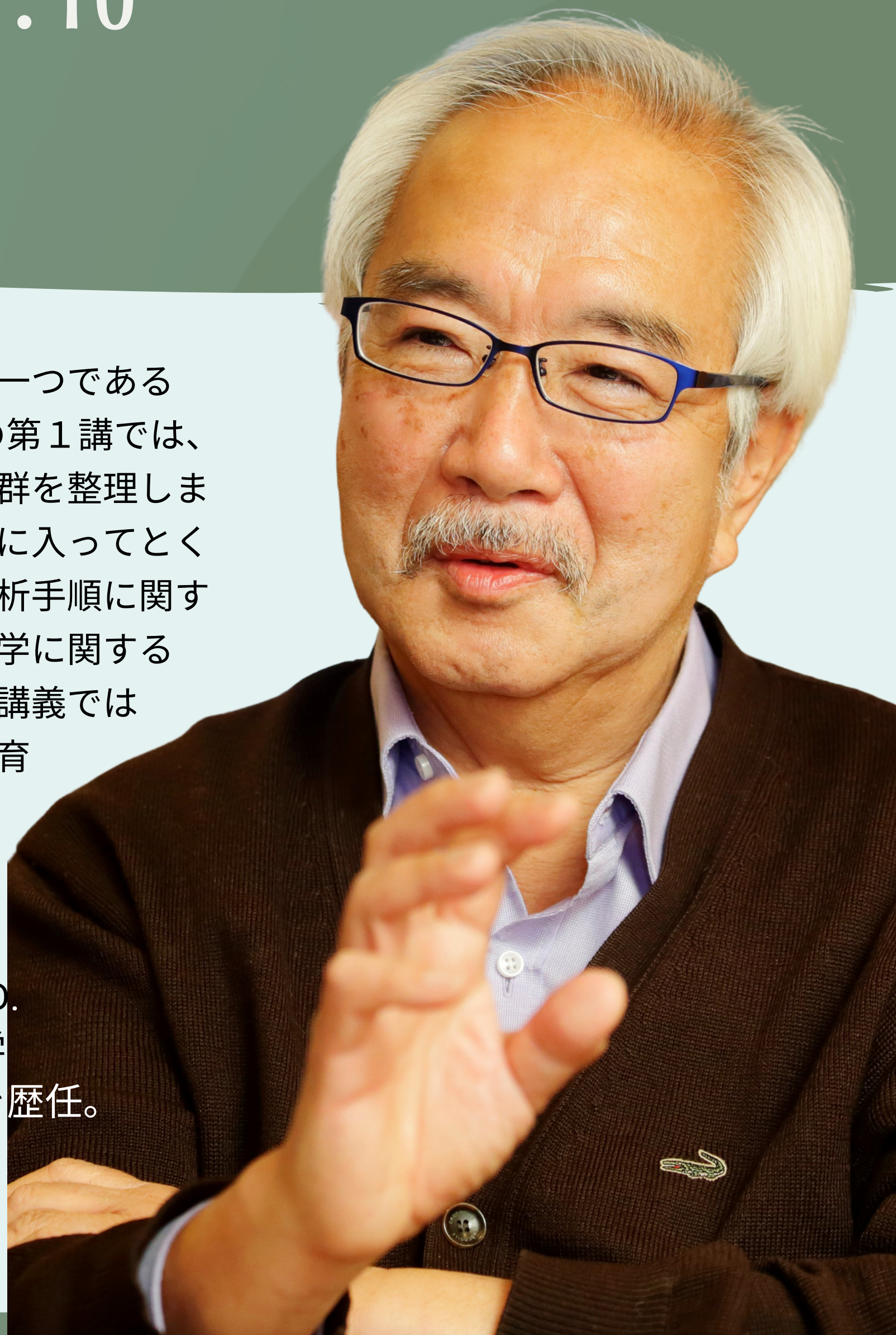
○ 概要

今回は、人間の言語理解を支える重要な過程の一つである統語解析（parsing）について考えます。3限の第1講では、統語解析について考えるうえで基礎となる問題群を整理します。それを踏まえ、4限の第2講では、今世紀に入ってとくに注目されるようになった、時間軸に沿った解析手順に関する研究成果を紹介します。言語理論や言語心理学に関する基礎知識があれば理解の助けになりますが、本講義ではそれらを前提とはしません。英語教育や国語教育など、ことばの教育に関心をお持ちの方にとっても示唆的な内容になるはずです。

○ 略歴

MIT大学院博士課程言語学・哲学研究科 Ph.D.
東京学芸大学教育学部助教授、慶應義塾大学
言語文化研究所教授、明海大学副学長などを歴任。
慶應義塾大学名誉教授

専門分野：言語の認知科学（生成文法）、
ことばの教育



お問合せ：関西大学大学院外国語教育学研究科オフィス
(gaiji@ml.kandai.jp)

